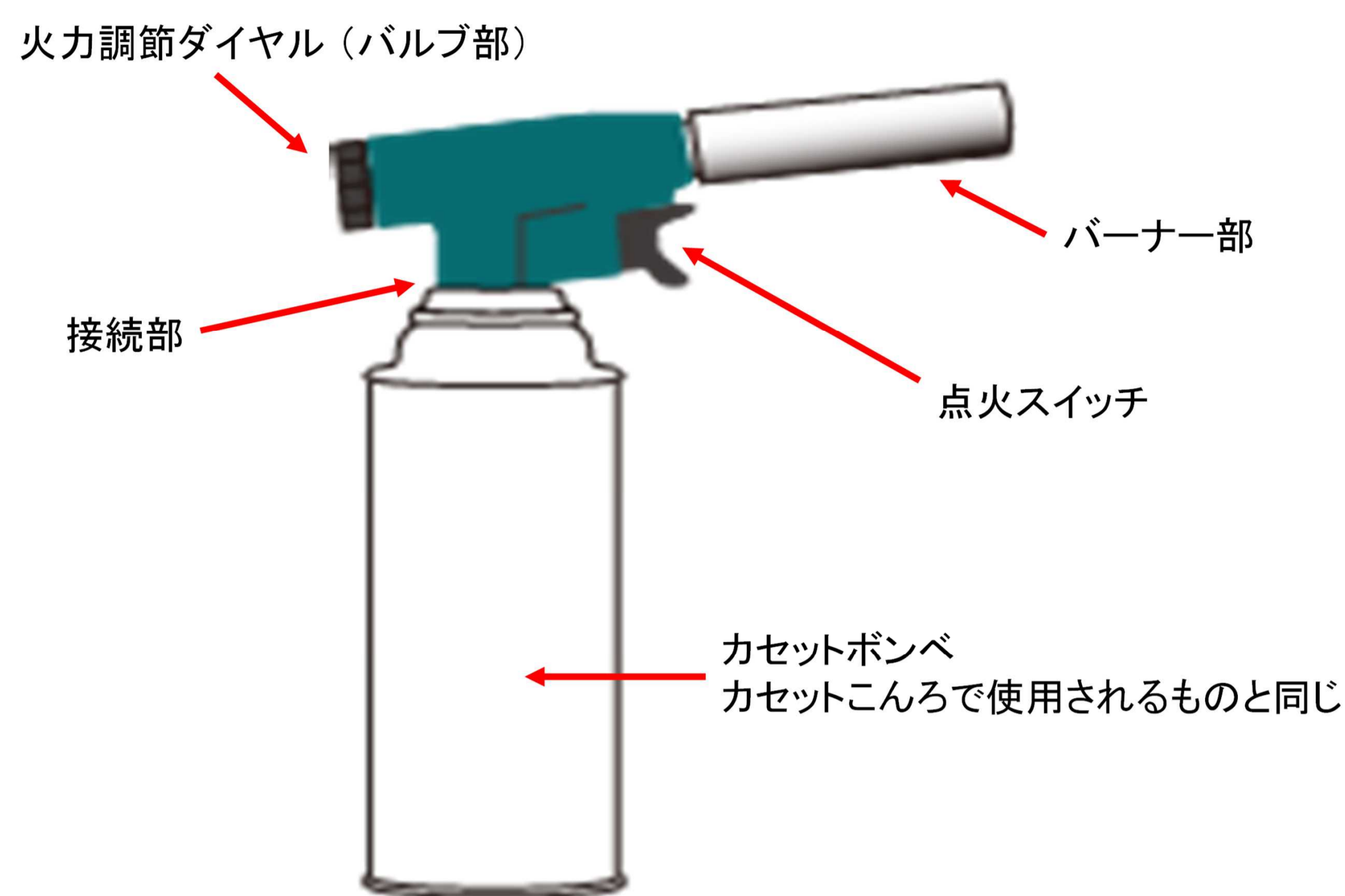


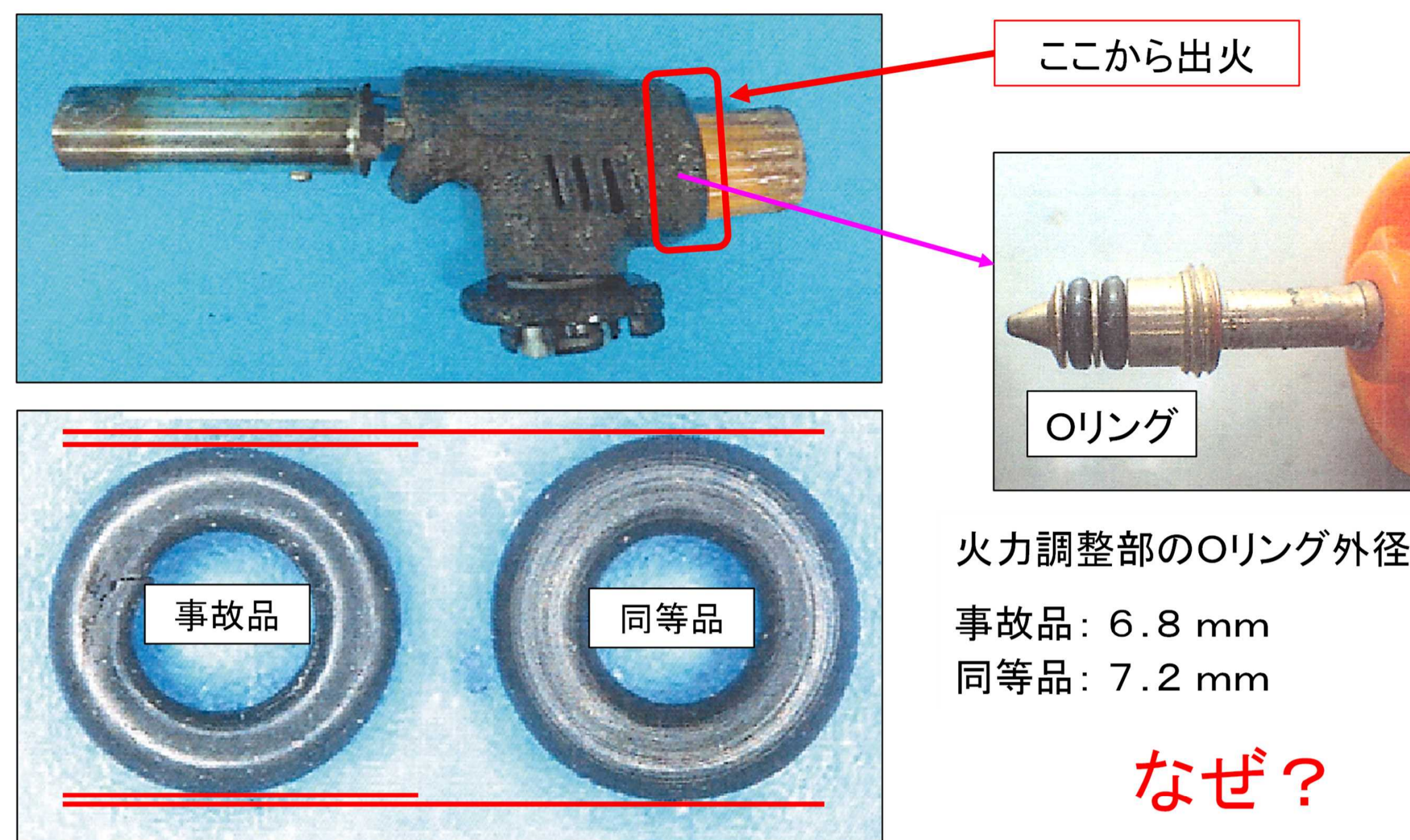
# ガストーチ火災に関する調査

## ガストーチとは



## 事故事例③ 火力調節ダイヤルから出火 (海外製)

事故品を使用中に火力調節ダイヤルから突然出火した。

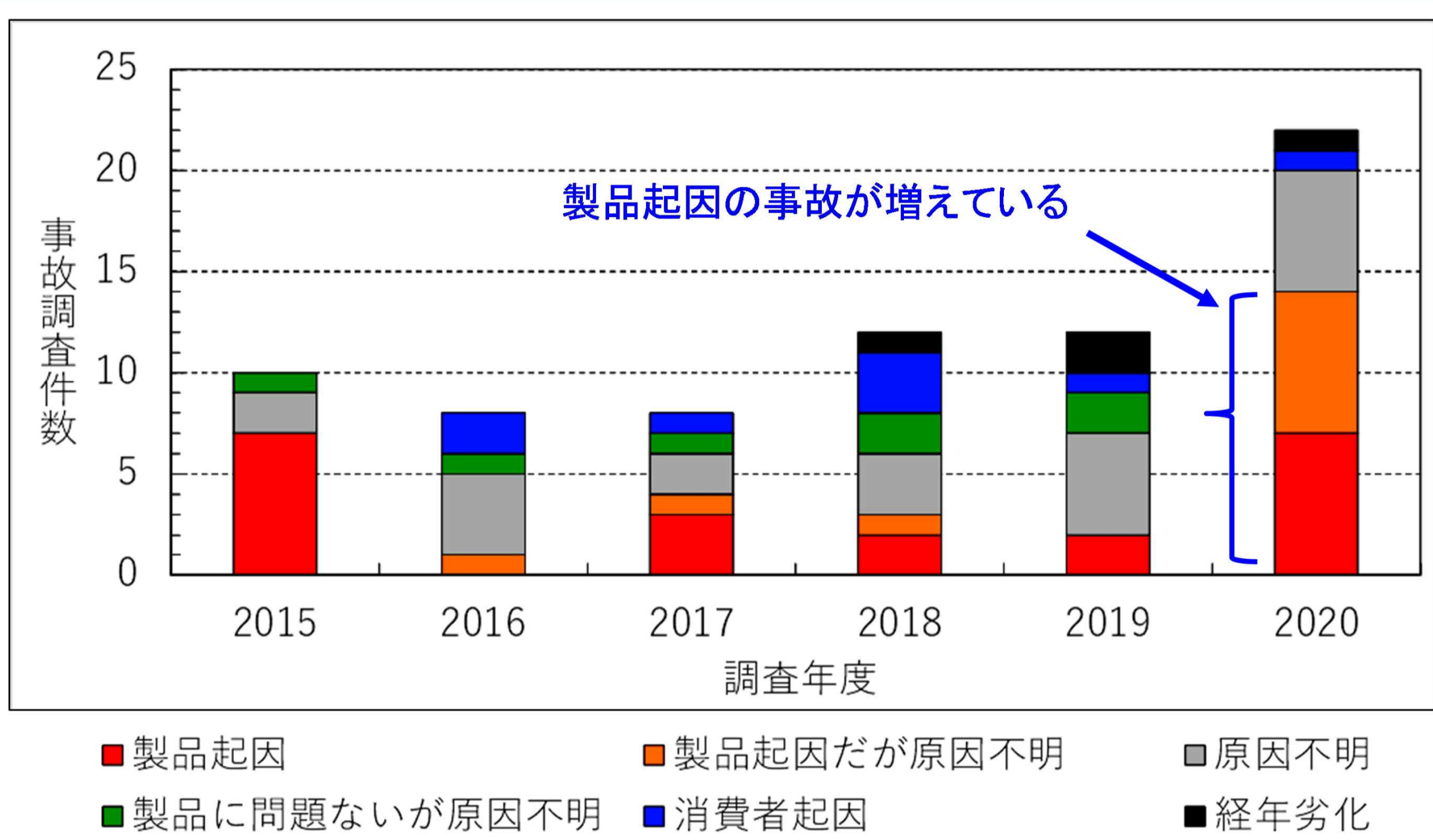


火力調整部のOリング外径  
事故品: 6.8 mm  
同等品: 7.2 mm

なぜ?

Oリングの外径が小さいためガスが漏れたと推定

## ガストーチ火災の傾向



製品起因の事故が増えているが、事業者の協力が得られないものもあり、設計不良か製造不良か判断できずに原因不明となったものが多い。

## ガストーチの課題

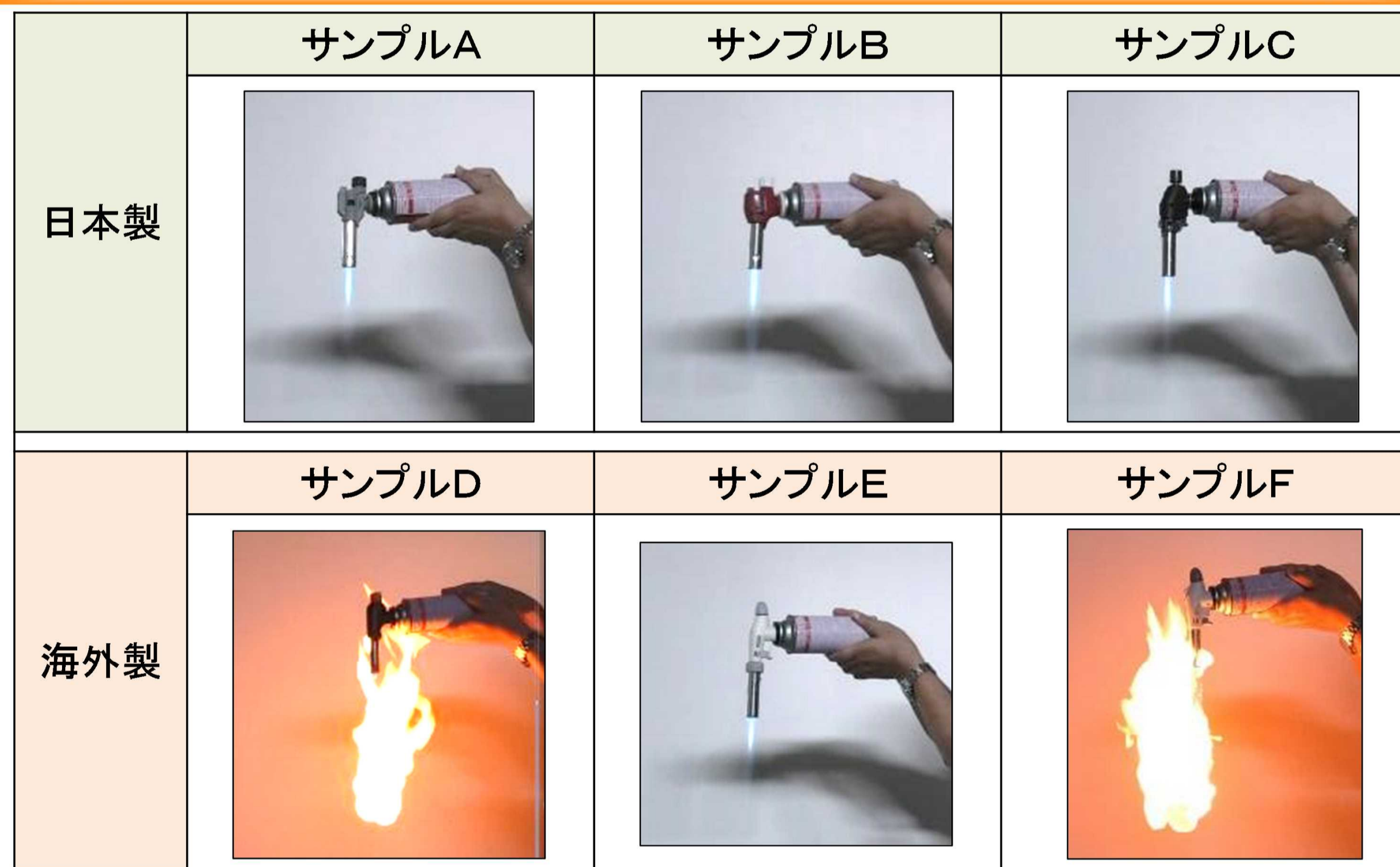
公的な規格がないため、不安全な製品が流通している。

海外製品(輸入品)での火災事故が増えている。

インターネットショップから購入された製品の事故調査では、販売店が不明であったり、協力が得られなかったりして、**輸入事業者までたどり着けないことが多い。**

輸入事業者が特定できなければ、再発防止の対応が難しい。

## 燃焼試験(直立から前へ90度傾ける)



前へ90度傾けると、海外製のサンプルDとサンプルFが異常燃焼した。

## 構造確認 バーナー部の気化器



直立から90度傾けた際に異常燃焼したサンプルDとFには、気化器が装備されていない。

## ●海外製ガストーチの特徴

- ・取扱説明書で使用時の注意警告内容が日本語で書かれていないものがあり、消費者にリスクが伝わらない。
- ・傾けるとバーナー部から燃料が液体で放出される、物がバーナー部に当たると接続部が容易に緩む可能性があるなど、通常予見される使用形態に対して、安全設計になっていないものがある。(通常有すべき安全性を欠いている。)
- ・Oリングが縮みやすい(断面積が小さくなる)ため、継続使用でガスが漏れて出火する可能性がある。
- ・日本製よりも安価なため、消費者に選ばれやすい傾向がある。